

合剤変更に潜むリスクとその回避の検討

(山口県) 総合メディカル (株) そうごう薬局下松中央店・そうごう薬局下松店

○佐藤 唯佳、佐藤 尚之

【目的】

最近では降圧剤だけでなく、様々な成分の組み合わせの合剤が販売されている。合剤への変更に
よりコンプライアンスの改善や患者負担金額の軽減などのメリットがあるが、そこに潜むデメリ
ットについて見落としてないだろうかと考えた。本調査では、合剤処方患者の薬歴から、そこに
潜むリスクについて分析し、その回避を試みたので報告する。

【方法】

1、合剤処方患者の薬歴調査を実施

調査項目

- ① 合剤変更前の医薬品名と変更後医薬品名
- ② 合剤変更後からの処方変更の有無とその内容
- ③ 合剤変更に関する患者の意見
- ④ 合剤変更後の体調変化

観察対象群：(2011年6月時点での合剤使用患者)：207人

対象医薬品：ユニシア LD、ユニシア HD、エックスフォージ、カデュエット 1~4 番

2、リスク分析と回避策の実施

【結果】

合剤変更により、大きく分類して以下の4種類のデメリットが見られた。

問題①薬識低下⇒4人 (2%)

問題②体調変化などの発生⇒87人 (42%)

問題③成分の重複⇒2人 (1%)

問題④コンプライアンス不良⇒14人 (7%)

薬識低下とコンプライアンス不良の患者に対し、薬袋への薬効記載や説明書を用いた対応を行な
うことで、18人中17人に改善が見られた。

【結論】

コンプライアンス改善や患者負担金軽減などのメリットを期待して変更した合剤ではあるが、
そこには期待とは真逆のコンプライアンス不良や薬識低下など思わぬリスクが潜んでいること
がわかった。今回生じたリスクは、薬袋への薬効記載や説明ツールの使用などの工夫で一部を回
避することができた。合剤変更時には薬剤師の視点からリスクを考慮し、個々の患者に応じた患
者ケアが必要であることが分かった。